

関西ハーモニカ連盟会報

# ハモニ

*Harmony*



# 213

2017年10月

ドレミちゃん  
© 関西ハーモニカ連盟 2011



## 関西ハーモニカ連盟 組織 2017年8月15日現在

**会 長** 仲村 眞 〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山東 1-7-15 フォルム帝塚山 309号  
TEL 06-6674-0152 FAX も同じ

**理 事 長** 吹上晴彦 〒602-8488 京都市上京区真倉町 757-107  
TEL 075-411-1531 FAX も同じ

**副理事長兼事業部長** 梁木 進 〒599-8116 堺市東区野尻町 192-20  
TEL 072-284-8808 FAX 072-286-4890

**事業部長補佐** 金丸寿夫、鐘ヶ江義行、木ノ山洋子、保理江元子  
**副理事長兼事務局長** 村上博昭 〒630-0141 生駒市ひかりが丘 1-13-20  
TEL 0743-79-9559 FAX も同じ

常  
任  
理  
事

**事務局長補佐** 角野まゆみ

**編 集 局 長** もり・けん 〒594-0041 和泉市いぶき野 4-1-4-209  
TEL 0725-57-7235 FAX も同じ (会報の原稿は会報編集室まで)

**連盟会報編集室** (会報の原稿の送付先、会報誌に関する問い合わせ等)  
harmonica@cardandmedia.co.jp  
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F 関西ハーモニカ連盟事務局  
TEL 06-6354-0323 FAX 06-6353-1393

**編集局長補佐** 岩本洋之、竹内寿子

**HP 広報担当** 渡辺晃志

**研 修 部 長** 小林由美子 〒662-0046 西宮市千歳町 7-42  
TEL 0798-22-1844 FAX も同じ

**研修部長補佐** 住田陽子、永野富康、西本豪介、丸山茂生

**組 織 部 長** 梅田恒弘 〒611-0021 宇治市宇治塔川 3-11  
TEL 0774-21-2373 FAX 0774-39-5506

**組織部長補佐** 松岡郁子 (会計兼務)

**会 計 部 長** 柴田正之 〒654-0013 神戸市須磨区大手町 5-3-1  
TEL 078-734-5157 FAX も同じ

**会計部長補佐** 松岡郁子 20人

**理 事** (五十音順) 青木鈴子、新井尚子、稲垣裕子、井上純一、\*内田常雄、小川末佐子、尾崎雄三、\*小野浩子、\*喜多創平、木原淳、\*坂田利雄、佐藤長、園真佳、高阪他美子、高山美千代、田口幸輝、\*竹本雅英、谷口昌子、戸田秀徳、富久鉄男、仲井治夫、中谷晃、中西富佐男、新山ミツ子、羽原伸示、林和子、林一義、福島隆志、藤本勇、藤原延之、松本忠義、松本千佳子、道下雅之、光野利一郎、山口昌代、和谷篤樹、渡邊義明 (\*は事業部長補佐) 37人

**会 計 監 査** 後藤貞男

**常 任 顧 問** (五十音順) 岡谷秀喜、笹山恵司、寺村安雄、村上浩一、吉村則次 5人

**顧 問** (五十音順) 岡村貞彦、西田幸司、渡辺 昇 3人

**特 別 顧 問** (五十音順) 甲賀一宏、齋藤寿孝、十河陽一、徳永延生、森本恵夫、和谷泰扶 6人

関西ハーモニカ連盟 ホームページ <http://harmonika-renmei.studio-web.net/>

### 入会のご案内 組織部長

入会金：1000円 (団体は1団体1律1000円)

年会費 (1月から12月)：

個人会員 5000円、地域外個人会員 5000円、準会員 (30歳未満の方) 1000円

団体会員 (5名以上の団体で1名につき) 1000円、賛助会員 10000円

郵便振替口座：00950-6-115527、加入者名：関西ハーモニカ連盟、通信欄に「入会申し込み」と記入してください。

◎入会申込書は必ず組織部へお送り下さい。

ハーモニカが好きなら、吹く方、吹かない方、上手な方、下手な方、上手になりたい方、ニュースだけほしい方等、どなたでも入会できます。



関西ハーモニカ連盟会報 **ハーモニ** 第213号 (2017年10月号)

発行部数 550 毎年4、7、10、1月に発行 (送付はそれぞれ前月中下旬)

表紙の写真は西尾好美さんのお孫さんの西尾遥真君 4歳

裏表紙は稲垣紀彦さんのお孫さんの小林晴君 6歳です

CONTENTS  
目次

第32回国民文化祭・なら2017ハーモニカ祭り	事業部	2
常任理事会実施報告	事務局	角野まゆみ 3
2017年度第4回研修会のご案内	研修部長	小林由美子 3
2017年度第1回研修会	研修部	住田陽子 4
「フレーズ感を養い歌うように演奏する」		
2017年度第2回研修会		源馬英人 6
佐藤秀麿作品集より「出船」夜想曲		
ハーモニカカレンダー	編集局	8
教室だより ヨークカルチャー奈良		和田惟男 10
教室だより ハーモニカサークル北千里	代表	海塩桂子 11
≪特別寄稿≫ハーモニカとともに100年	トンボ楽器製作所社長	12
	真野照久	
トンボ楽器100年の関連資料「口琴芸術第8号」より	編集局	13
静かだった日本ハーモニカ芸術協会		吉村則次 14
関西支部連合会コンサート		
間中勘先生のご冥福をお祈りします。	編集局	15
ポコ・ア・ポコ		村上博昭 16
「国民文化祭・なら2017イベント」でPR演奏!		
堺市北区音楽祭で5曲		吉村則次 17
堺ハーモニカ・アンサンブル		
錦織のり子さん、		吉村則次 17
FIHクロマチック・クラシック部門2位		
第三回岩崎先生から教わった演奏上の技法	< AHA からの転載 >	18
岩崎先生の開放ベースの豊かな音色		
ハーモニカが上達するための大切なこと (68)	池田輝樹	20
日本の宝物「童謡」誕生100年	日本童謡協会会員	21
ハーモニカで伝えて!	もり・けん	
温故知新 Jalousie ジェラシー	寺村安雄	22
私のハーモニカ人生 (米寿にあたりて)	隅啓次郎	25
れんめいひろば	編集局	26
“行って!見て!聞いて!” (私の備忘録) vol.6	岩本洋之	28
連盟サイト閲覧手引き III	HP担当	渡辺晃志 29
会報「ハーモニ」についての		
アンケート報告<その1>	編集局	30
会員異動のお知らせ	組織部長	梅田恒弘 31
「ハーモニ」のバックナンバーをご希望の方に	編集局	32
編集後記	編集局長	もり・けん他 33



第 32 回国民文化祭・なら 2017

なら

# ハーモニカ祭り



国民文化祭・奈良県民文化祭

2017 10/7 10/8 (土・日)  
なら 100 年会館 中ホール

近鉄奈良駅より徒歩 15 分、JR 奈良駅より徒歩 5 分

10 月 7 日 第 28 回関西ハーモニカ祭り

・ 10 時開演(9:30 開場 18:00 終演) ・ ・ 入場無料

10 月 8 日 全国ハーモニカ愛好者による演奏会

・ 10 時開演(9:30 開場 13:00 終演) ・ ・ 入場無料

10 月 8 日 ゲストアーティストによる夢のコンサート

・ 15 時開演(14:30 開場 18:30 終演) ・ ・ チケット有料 2,000 円/枚

チケットは売り切れました。ご了承下さい。

日本最大級の  
ハーモニカオーケストラ  
あつぎ  
グランドハーモニカ  
アンサンブル



指揮: 甲賀一宏

主 催: 文化庁・奈良県・奈良県教育委員会・第 32 回国民文化祭奈良県実行委員会・

奈良市・奈良市教育委員会・第 32 回国民文化祭奈良市実行委員会・関西ハーモニカ連盟

協 賛: 全日本ハーモニカ連盟・日本ハーモニカ芸術協会・日本ハーモニカ振興会

トンボ楽器製作所・鈴木楽器販売・全音楽譜出版社・三木楽器



## 常任理事会実施報告

事務局 角野まゆみ

## 2017年第4回常任理事会報告

1日時 2017年6月19日(月) 午後6時より

2場所 ふんふんざろん

- 3議題 ①事業部 交流旅行について  
第32回国民文化祭・なら  
2017ハーモニカ祭り等につ  
いて
- ②会計部 第32回国民文化祭・なら  
2017ハーモニカ祭り等予算  
について
- ③編集局 アンケートについて
- ④組織部 会員動向について
- ⑤研修部 研修会申し込み状況について
- ⑥事務局 第32回国民文化祭・なら  
2017ハーモニカ祭り等につ  
いて

## 2017年第5回常任理事会報告

1日時 2017年7月24日(月) 午後6時より

2場所 ふんふんざろん

- 3議題 ①事業部 第32回国民文化祭・なら  
2017ハーモニカ祭り等につ  
いて
- ②会計部 第32回国民文化祭・なら  
2017ハーモニカ祭り等予算  
について
- ③組織部 会員動向について
- ④研修部 研修会申し込み状況について
- ⑤事務局 他連盟の役員異動報告

研修部

## 2017年度第4回研修会のご案内

研修部長 小林由美子

## 第4回研修会

&lt;日程&gt; 11月12日(日)

&lt;講師&gt; 新井尚子

(クロマチックハーモニカ奏者)

<内容> テーマ「表情豊かに曲を演奏しよう」  
(クロマチック・複音でのソロ曲と  
二重奏曲を題材に)

&lt;持参していただくハーモニカ&gt;

クロマチックハーモニカか、  
複音ハーモニカC・C#  
(両方お持ちの方は両方)

ご都合の悪くなられた方は、早めにキャンセルの  
ご連絡をお願いします。なお、当日のキャンセル  
については運営の都合上、会費をいただきますの  
でご了承ください。



## 2017年度第1回研修会 「フレーズ感を養い歌うように演奏する」

研修部 住田陽子



平成 29 年 5 月 21 日(日)さわやかな青空の下、第 1 回研修会が愛日会館で行われました。

日本ハーモニカ芸術協会、FIH 西日本ハーモニカコンテストの審査員をしておられる水野隆元先生は、10 歳でハーモニカを岩崎重昭先生に習われ、22 歳に 3 年間ドイツ留学で音楽の勉強をされ、帰国後大学院でコンピューターミュージックを専攻されました。現在は甲賀一宏先生に師事され活動されています。今回は、テーマの「フレーズ感を養う」為にエネルギー、呼吸の使い方を中心に、お話しがありました。

### ★フレーズ

一つの意味のかたまりで、言葉と繋がりが深い。良い演奏は、フレーズの中で変化があり、次のフレーズに何かが伝えられる。たとえば、強弱、揺れ(速くなったり遅くなる、クレッシェンドに合わせて前に詰めたり緩めたり)音形(丸い音、尖った音)をフレーズの中で変化させている。

### ★エネルギー

強弱記号のクレッシェンドはだんだん音量が大きくなるだけでなく、音の性質、緊張が大きくなり演奏者のエネルギーがたまって体の気迫が伝わる。デクレッシェンドは音が小さくなるだけでなく、演奏者の緊迫が抜けていく。フォルテは注目してほしい所、大事な所にあることが多く、クライマックスのフォルテに達するには、準備が必要。演奏者のエネルギーをどう操作するかが大切で、その為には息をコントロールしなくてはならない。

### ★呼吸

生きるための呼吸(無意識の呼吸)と演奏のための呼吸(コントロールが必要)は違う。呼吸をコントロールしないとクレッシェンドやデクレッシェンドが出来ない。

ダムにたまった水を少しずつ出していく様に、風船の空気を少しずつ出していく様に、一旦溜まったものをどれだけ出すかコントロールするには、肺の周りの筋肉を使う。

大きく息を吸う→止める→息を吐く

← 吸気運動 → ← 呼気運動 →

1 回目は、手を肋骨の下に当て大きく息を吸い、息を止めてから一気に吐く。肋骨が広がり空気を溜めて、肺の空気を押すと一気に狭くなる。2 回目は、手を肋骨の下に当て大きく息を吸い、一旦息を止めてから少しずつ吐く。肺の周りの筋肉が肋骨を広げ肺に空気を溜め、少しずつ吐いている間も、暫く息をコントロール出来る。これを吸気運動という。

ハーモニカを吹く時は、溜まった息を使う吸気運動のままだと息をコントロールできる。息をコントロールできないと、クレッシェンドもデクレッシェンドも出来ない。

肺が苦しくなると胸郭が狭くなり、息をひねり出す運動(呼気運動)になるので、息をコントロール出来ない。





### ★ロングトーン

レの音を8拍ピアノシモで吸う練習。乾いたスポンジに少しずつ水を浸み込ませるイメージで肺に空気を少しずつ充滿させる。何のためにロングトーンをするかという、自分の肺がどうなっていくか意識し、音量、音質を考え、自分と楽器との関係を知るため。息を吸うと胸郭が広がり、そのまま息の出入りを止め、肺に溜まった空気を小出しにする。どこで息が苦しくなり、肋骨が縮まるか意識して音を鳴らしてほしい。大きく息を吸い、ピアノシモからクレッシェンドをして、エネルギーを感じながら息をコントロールする練習をする。

### ★実際の曲で試してみよう

1 1 1 | 2・3 2 | 3 3 4 | 5 — — |

「ふるさと」の曲を、始まりの音を弱くすることで、クレッシェンドの幅が広がる。前半はクレッシェンドして音量だけでなく後半にエネルギーを伝える。エネルギーがどこに向かっているか考えると、全体の頂点はソ。フレーズの中で、音は方向性を持っている。

1 1 5 5 | 6 6 5 — | 4 4 3 3 | 2 2 1 — |

「きらきら星」で、フレーズを考えて息をコントロールし、クレッシェンド、デクレッシェンドで演奏する。終わりのデクレッシェンドは、エネルギーが溜まった状態から体が弛緩し、音の消えていく瞬間に意識を持つ。

5・6 5 3 2 1 |  $\dot{1}$  - 6 - |

フォスターの曲では、上のドが目的地。ジャンプして上のドに向けてエネルギーが大きくなる。頂点を大きく吹くと耳につくのでドに達したら力を抜く

が、エネルギーは持っている状態で次へつなく。

### ★レガート

音と音の間にすき間がないこと。音量が連続的で、次の音に移る時、少しだけ重なる瞬間がある。デジタル時計は次の数字に変わる時に僅か、すき間がある。アナログ時計はいつの間にか次の数字に針が動いている。時間はずっと流れて、ある瞬間に変わるのではなくアナログ時計のイメージでレガートを吹く。イメージの大切さを実感。

音楽は、時間の芸術なので時の進行と共に変化が起きる。レガートで柔らかくしたり音を立てたり、揺れを意識して前に詰めたり緩めたり、ベース、分散、オクターヴ奏法があってもクレッシェンド、デクレッシェンドを意識して、エネルギーがフレーズの中でどうなっていくか意識して吹く事が大切。

小林由美子研修部長が、あつという間に時間になり、大変勉強になりました、と締めくくられました。

研修会参加 91名 アンケート提出者 32名  
男性 13名 女性 18名 (50代 2名、60代 11名、70代 10名、80代 2名)

### 感想

- 「音の頂点に達したら抜く」は発見でした。
- 演奏の基本になる考え方を聞いたのは初めてで勉強になった。
- 楽譜を追うことに精一杯でフレーズを意識していなかったのが勉強になった。
- 呼吸の仕方を意識すると演奏が変わると聞き今後の練習に活かしたら希望が持てる。
- 音の継ぎ方が大切なのが分かった。
- フレーズ、呼吸、エネルギーを意識して練習しようと思った。



## 2017年度第2回研修会 佐藤秀廊作品集より「出船」夜想曲

源馬英人



夏本番の7月2日(日)、関西ハーモニカ連盟の2017年度第2回研修会が愛日会館で開催された。今回は、『出船』夜想曲の美しい演奏をテーマとし、当連盟理事長の吹上晴彦先生が講師として壇上に立たれた。会場には開会前から、外の暑さを凌ぐ熱気が充満していた。また、恒例の名物イベントとして今回も公開レッスンが企画され、当連盟理事の内田常雄氏、および会員の松本孝司氏が参加者代表として先生のご指導を受けた。

最初に、『出船』夜想曲についての詳しい解説がされた。それによれば、この曲の基となった「出船」は、詩人の勝田香月が秋田県の能代港で目にした光景を綴った詩に、ヴァイオリニストの杉山長谷夫が自作のヴァイオリン協奏曲のテーマを当てはめて完成した作品である。勝田が港で目にしたのは、貧しい農村部の娘たちが(おそらくは夜の街で働くために)親元を離れ、粉雪が舞う中を船に乗せられ旅立つという、胸を締めつけられるような場面であった。「出船」のレコードが発売された昭和3年、日本は深刻な不景気に苦しんでおり、閉塞状況にあった人々の心情にこの歌は強く訴えたという。杉山は自ら記した譜面に、「寂しく」と書き添えているそうである。当然ながら、この杉山の指示は『出船』夜想曲にも当てはまることであり、演奏に際して我々は、これが決して明るく賑やかな曲ではないことを心得ておかねばならない、と先生は強調された。

曲想を理解するにあたり、まずは編曲者自身の演奏を聴こうということで、故佐藤秀廊氏が78歳の時の演奏が再生された。倒れた翌日の演奏とは思えぬ、力あふれる熱演がそこにあった。佐藤秀廊氏の言葉として故岩崎重昭氏が伝える、「音楽とはテクニックではなく、心である。その心や詩を表現するのが真の演奏家である。音楽の心を掴むということは、いくら説いても、選ばれた人にしかできない」という教訓を紹介しながら、吹上先生は、会場に集まった参加者が佐藤氏自身の演奏を聴き、『出船』夜想曲の心について各人なりのヒントを掴むよう促された。

今回の研修は、「心」をキー・コンセプトとして構築された。吹上先生はここで、全日本吹奏楽連盟理事長である丸谷明夫氏の、『息』という字は自分の心と書く。自分の心を込めて楽器を吹いてください」という言葉を紹介しながら、これはハーモニカにもそのまま通じることであり、吹き手として自分が何をどう表現したいのかをよく理解し、その実現に向けて努力すべきだ、と熱く語られた。(補足記事をP26に掲載しました、編集室)

さて、研修会はいよいよ本題へと入った。先ずなすべきこととして先生が指摘されたのは、歌詞や背景、曲の構成などをよく研究することである。『出船』夜想曲は構成的に見ると、<前奏>、<第1部：主旋律(ヴァイオリン奏法)>、<第2部：主旋律(分散和音奏法)>、<修飾的中間奏







(カデンツァ) >、<第3部：主旋律（分散和音奏法）>、<後奏（カデンツァ）>の順で展開している。この構成をしっかりと理解し、曲想をよく練るとともに、難度の高い箇所にも備えておくことが重要なのだという。

上記を踏まえた上で、いよいよ演奏についての具体的なご指導が始まった。大曲中の大曲なので、この曲の演奏に関して先生が示された助言や注意は非常に多く、また詳細にわたった。紙数の制約もあり、ここですべてを紹介することはできないが、以下にその一部を示そう。

★『『出船』夜想曲』ではベースが重要な役割を果たし、どう打つかで雰囲気が大きく変わる。この曲の「暗い悩ましい気持ち」を表現するためには、どのタイミングで舌を離し、戻すのかを、演奏者はよく考えねばならない。また、ベースは最初から単音（旋律音）に重ねて打つのは誤りである。厳密には単音で始まり単音で終わるのがベースの基本である。

★6連符の演奏では、ハーモニカを滑らせると音が流れやすいので、できれば舌で押さえる。

★ハーモニカは吹き吸いの両方で音が出る楽器なので、吹き吸いの切り替え時に音が凸凹にならぬようにすることが大事である。

★裝飾音はあくまで裝飾なので、それによって旋律の基本的な拍が乱れないように心がけること。

★前奏の2段目は小節線が書かれておらず、奏者の裁量に任されているが、ここでも好き勝手に演奏してよいというわけではなく、一定の秩序を保つことが求められる。

★複音ハーモニカのトリルは音が汚くなりがちなの

で、美しい音を出す工夫しなければならない。

★前奏最終部のトリルの後の「ファソファ」は3連符になっているので、ここは2拍分で3連符を演奏するようにする。

★ハーモニカの数字譜には強弱記号があまり記載されていないことが多いので、曲想に従って演奏者自身が楽譜にクレッシェンド、デクレッシェンドなどの記号を書き入れ、強弱の展開をよく把握する必要がある。これによって演奏に表現が生まれる。

★ピアノから始まる場合は限りなくゼロに近い強さから入り、クレッシェンドでそれを強めていく。強くなりきったら、また落とし、次の展開につなげるようにする。

★オクターヴ奏法では、間の音を舌でしっかりブロックし、濁りのない音を出すようにする。

さて、プログラムは前半の全体研修に続き、休憩をはさんで、後半の公開レッスンへと移った。今回、生徒として直接指導を受けたお二人は、ともに腕（口）に覚えのある上級実力者であり、その演奏に会場の参加者は思わず唸らされた。とはいえ、今回の題材は佐藤秀廊編曲集の中でも最大の難曲であり、各々苦勞される箇所も幾つかあったが、その都度、吹上先生が演奏者に与える指示や指導は見事に的を射ており、それはそのまま参加者全員への貴重な指示や指導ともなった。公開レッスンを終えたお二人には、会場から激励と感動の惜しみない拍手が贈られた。

研修会の最後は、もちろん、吹上先生ご自身による『『出船』夜想曲』の模範演奏である。曲の構成と展開、それを美しく劇的に表現する、細部にまで注意を払った名演奏に一同は聞き惚れ、3時間近くに及ぶ充実した研修会が幕を閉じた。





# ☆☆ ハーモニカ カレンダー ☆☆

2017年8月15日現在 関西ハーモニカ連盟 編集局



日 時	演奏会及び演奏者名(敬称は略)	会場・お問い合わせ先
9月10日(日)	ハーモニカズ・アバンドーネ 15年記念コンサート (ゲスト演奏 デュオ・ユットラ)	京都 大谷ホール
9月10日(日)	第11回宇治日和 複音ハーモニカ吹きまくり会	宇治市 ふりーすぺーす宇治日和
9月10日(日)	梁木進 複音ハーモニカ公開講座	ふんふんさろん
9月15日(金)	連盟主催 宮崎へ交流旅行	【問】 事業部 梁木
~18日(月・祝)	(コンサート、交流会、観光等)【WEB】	
9月16日(土)	18:30~ 徳永延生/山下伶/徳永有生コンサート	鶴見区民センター 3,500円 【問】 徳永
9月23日(土・祝)	13:30~ JOY ポップスハーモニーコンサート	JR吹田 サンクスホール 【問】 黒谷 090-4769-0805
9月24日(日)	13:00~ 梁木進 ハーモニカ愛好者集まれ、吹きまくり大会 来場時間自由(チラシ同封)【WEB】	ふんふんさろん 出演料1,000円 聞くだけ無料
9月25日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
10月1日(日)	10:00~ 梁木進「野花」特別講習(チラシ参照)	ふんふんさろん 3,000円【問】 梁木
	13:00~ 梁木進 個人レッスン【WEB】	ふんふんさろん 3,000円【問】 梁木
	第32回国民文化祭・なら2017ハーモニカ祭り	
10月7日(土)	【WEB】	なら100年会館中ホール
10月7日(土)	10:00~18:00 「第28回関西ハーモニカ祭り」	【問】 事業部 梁木
10月8日(日)		P.2 参照
10月10日(日)	10:00~13:00 「全国ハーモニカ愛好者によるコンサート」	
10月10日(日)	15:00~18:30 「ゲストアーティストによる夢のコンサート」	
10月14日(土)	12:30~ 尼崎ハーモニカエコーズ発表会	尼崎市大庄公民館 3F ホール
10月14日(土)	「第32回たのしいハーモニカコンサート」	【問】 藤井健次
10月14日(土)	14:00~/15:15~ 徳永延生、徳永有生、山添ゆか vocal Joint Live	Live Spot Brownie 京阪関目 地下鉄関目 成育 3,500円
10月14日(土)	12:00~ もり・けん&井上善日居(ギター)	中央電気倶楽部 6,500円
10月15日(日)	12:00~ 秋の昼下がりにコンサート	【問】 もり・けんプランニング
10月15日(日)	吉村教室発表会	堺市北野田フェスティバル・フラットホール 【問】 吉村
10月16日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
10月20日(金)	トンボ楽器製作所100周年記念式典	東京浅草ビューホテル
10月28日(土)	13:00~ 垂水ハーモニカ友の会第13回発表会	神戸市垂水勤労市民センター レバンテホール 【問】 渡邊義明
10月29日(日)	13:00~ 寺村安雄主催 複音ハーモニカ講習会(チラシ同封)	愛日会館(要予約) 2,000円 【問】 寺村
11月1日(水)	World Harmonica Festival	Trossingen, Germany
~5日(日)	詳細は whf-2017.de/ 参照	
11月4日(土)	学園前アートフェスタ2017 音楽コンサート	奈良市西部会館 3F 学園前ホール 入場無料
	ハーモニカ演奏 岩本洋之	【問】 岩本又は実行委員会 0742-41-4509



和声ハーモニカ協会  
設立1971年

日 時	演奏会及び演奏者名(敬称は略)	会場・お問い合わせ先
11月4日(土)	日本ハーモニカ芸術協会 複音ハーモニカコンクール本選	東京
11月5日(日) 13:00～	梁木進 個人レッスン	ふんふんさろん 3,000円
11月6日(月) 12:00～	もり・けん & 武原直子(バイオリン) ランチコンサート	太閤園 6,500円 【問】もり・けんプランニング
11月12日(日) 14:00～	連盟主催 第4回研修会 講師 新井尚子 P3参照【WEB】	愛日会館
11月12日(日)	堺市芸能百華 堺自由の泉大クロマチックコースが出演	堺市中文化会館
11月12日(日) 13:00～	NHK神戸マリンハーモニー 第14回たのしいハーモニカ発表会	神戸中華会館東亜ホール 【問】吉村望 078-752-9013
11月20日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
12月3日(月) 13:00～	梁木進 個人レッスン	ふんふんさろん 3,000円
12月10日(日) 10:00～	寺村安雄合同ハーモニカクラブ クリスマスコンサート	南海北野田駅前 堺市東文化会館
12月10日(日) 12:00～	もり・けん&タンタナクイ(フォルクローレ) ランチコンサート	太閤園 8,500円 【問】もり・けんプランニング
12月18日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
12月23日(土) 9:00～	お笑い神事 もりけん童謡奉納	枚岡神社(近鉄奈良線枚岡駅) 参加無料 【問】もり・けんプランニング
12月24日(日) 13:00～	H企画クリスマスハデコン・コンサート	新大阪ココプラザ 1,000円【問】梁木
<b>2018年</b>		
1月20日(土)	あつぎハーモニカコンサート	神奈川県厚木市
2月11日(日・祝)	関西ハーモニカ連盟 定時総会	大阪市西区 徐園
7月1日(日)	日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会コンサート	大津市民会館
8月5日(日)	西日本ハーモニカコンテスト	堺市 サンスクエア堺

【問】：問い合わせ先 【WEB】：WEBのカレンダーに案内詳細をリンクしています。過去のイベントはホームページの『会報バック No 目次』をご覧ください。http://harmonika-renmei.studio-web.net/

●問合せ先(順不同)

徳永延生.....06-6934-7266  
 事業部梁木進, H企画梁木.....072-284-8808 090-8655-6045  
 ハモニカ館 吹上晴彦.....0798-22-1844(FAX 共通)  
 寺村安雄.....072-297-5737(FAX 共通) 090-9092-8814  
 吉村則次.....072-251-9398  
 もり・けんプランニング.....090-1485-6877 (東)  
 ふんふんさろん.....06-6352-8005 FAX 06-6353-1393



## ヨークカルチャー奈良

和田惟男

所在地 奈良市二条大路南 1-3-1  
イトーヨーカドー奈良 5F  
電話 0742-30-1811

指導者 和田惟男

練習日 上級教室 第1・3月曜日 10:00~11:30  
入門教室 第2・4金曜日 13:30~15:00

会員数 上級教室 8名（男性2、女性6）  
入門教室 4名（男性3、女性1）

年齢 60～70歳台



### 教室の沿革

2003（平成15）年7月、イトーヨーカドーが奈良市に進出、カルチャー教室が開設されました。同年11月に複音ハーモニカ教室が開講、講師は青木鈴子先生でした（因みに和田惟男は生徒第1号でした）。2008年12月に初級クラスを新設、2009年9月に和田惟男が講師に就任しました。2011年7月、青木鈴子先生の退任に伴い、二つの教室を再編して現在の教室の講師に和田が就任しました。更に2016年4月に入門教室を新設し、ここである程度習熟したら、上級教室への編入を勧めています。

### 練習概要

月2回の練習日には、最初に最近教わった数曲を皆で演奏します。難しいところ、間違えやすいところは何回か部分練習をして、時には一人ひとり確認することもあります。次にほぼ毎回、その時々クラスの現状・課題に沿って、新曲が提示されます。曲集紹介・曲の説明・模範演奏・奏法の解説・

練習方法を聞いて皆で演奏します。疑問点を質問し、反復練習は各自の力量で、次回までの課題となります。メンバーからのリクエスト曲を取り上げることもあります。

アンサンブルは、その時々的人数構成や、バス・コード奏者の有無により、二重奏になったり、四重奏ができたりしますが、2015年に連盟に団体加入して以来「ハーモニカ祭り」に参加しています。今年は地元奈良開催を記念して、「大和路の恋」を演奏します。

### 合同発表会

ハーモニカアンサンブル「ポコ・ア・ポコ」のメンバーである青木鈴子・畑中紀子・和田惟男が講師を務める各教室のメンバーが一堂に会して、毎年11月に「ポコファミリーコンサート」を開催しています。今年のハーモニカ祭りには「ポコファミリー」50余名の大アンサンブル!!で参加するのを楽しみにしています。



## ハーモニカサークル北千里

代表 海塩桂子

所在地 吹田市古江台 4-2 D7  
北千里地区公民館  
指導者 田口幸輝先生  
練習日 第2・4日曜日 10:00～12:00  
会員数 10名(全員女性)  
年齢 60～80歳台

2002(平成14)年7月、吹田市の「市報すいた」にハーモニカ仲間募集の記事が掲載されました。当時5名が入会して、畑婦美子先生のご指導を受けることになりました。“北千里ハーモニカファミリー”の名称で、開講して既に10年以上になるサークルです。

当初、初心者の方たちと先輩方との差が大きくて、午前中は初心者、午後からは先輩方と分かれての練習が始まりました。後に会員数が増えて、畑先生から「体力的に無理」とのお申し出があり、残念ながら午後のグループの指導を辞退されました。その後、午後のグループはクロマチックハーモニカの楠陽児先生をお迎えして現在も活躍されています。

私たちは2003(平成15)年10月、第14回関西ハーモニカ祭りに初出演致しました。先生のご提案で、名称を「ひよこ」とし、全員黄色のスクーフを巻いて、『秋祭りの夜(メドレー)』『六甲おろし』の2曲を2重奏しました。今でもその時の緊張感を思い出します。

後に名称を「ひよこ」から「すずらん」、更に「ハー



モニカサークル北千里」と変更して今日に至ります。毎年関西ハーモニカ祭りと北千里公民館文化祭には欠かさずに参加しています。

2008(平成20)年、畑先生ご高齢のため、田口幸輝先生へとバトンタッチをされました。日頃は合奏の練習が主ですが、年一度、教室のクリスマス会では、お楽しみの昼食会の前に、各自1、2曲を独奏して、先生から評価、アドバイスをいただきます。

うれしいニュースとしては、今年5月に先輩方の「クロモニージャパン」主催の「ハーモニカふれあいコンサート」へのお誘いがあり、出演させていただきました。今では地域の老人会や福祉施設などでのボランティア活動にも参加させていただいています。

ハーモニカの楽しさ、難しさ、仲間との助け合いで素晴らしい演奏ができる喜びを感じています。まだまだ色んな奏法に挑戦して楽しみたいと願っています。



## ハーモニカとともに 100 年

トンボ楽器製作所社長 真野照久

トンボ楽器製作所は 1917 年にハーモニカの本格生産を開始してから、今年で 100 周年を迎えることとなりました。これもひとえに愛好者の皆様のご愛顧のおかげと、感謝申し上げます。

トンボ創業者、真野清次郎は玩具問屋で修業した後に、明治 35 年「高陽堂真野商会」を設立し、ブリキ製の玩具の製造を始めました。当時、ドイツのハーモニカの不良品を購入し、分解裁断し、簡単な風琴の玩具を作り販売したところ好評を博し、それがハーモニカ製造へと進むきっかけとなりました。その後、試行錯誤の末、ハーモニカの量産体制を整え、大正 6 年（1917 年）ハーモニカ製造工場を東京日暮りに建設すると同時に「トンボハーモニカ製作所」と名前を変え、トンボ楽器製作所としての歴史が始まりました。その後、ハーモニカの楽器としての地位向上に取り組み、昭和 2 年に設立された全日本ハーモニカ連盟と協力し合うなど演奏家との交流から新しい楽器の開発を行っていきました。

戦争を経てハーモニカの生産が出来なくなったり、工場が焼けてしまったりと、困難にも直面しましたが、戦後、器楽教育にハーモニカが取り入れられたことで、一気に生産量が増え、他の国内メーカーとともに、教育用ハーモニカの品質向上に努めました。このことは、結果として日本製ハーモニカの品質、耐久力を向上させることにつながり、海外においても日本製ハーモニカが評価されている大きな要因となり、現在は約 40 か国へ輸出も行っております。

トンボ楽器は「楽器は演奏する方がいてこそその道具」を信条として、演奏家の方々との交流を大事にしてまいりました。今後もその姿勢に変わりはなく、全国の愛好家との交流を大切にしながら、ハーモニカ文化の一翼を担っていきたくて考えております。最後になりますが、楽器を演奏する人生は素晴らしいと信じ、より多くの方が素晴らしい人生を送られるのをサポートする企業でありたいと願っています。



昔の戸田工場



当時のハーモニカ製作工程



## トロボ楽器 100 年の関連資料「口琴芸術第 8 号」より

寺村安雄様より、多くの資料をお寄せいただきました。紙面の都合で抜粋してご紹介します。トロボ製作所の先々代である真野泰光氏のご逝去に関連して、1985（昭和 60）年 12 月 30 日発行の佐秀会報「口琴芸術第 8 号」にハーモニカ界の巨匠である佐藤秀廊さんが次のように書かれています。

## 手記『真野泰光氏と私』

佐藤秀廊

『何といっても真野泰光氏の死は、惜しんでも余りある。日本ハーモニカ界の大損害であるし、私に取っては片腕を取られたと同じ思いである。（中略：佐藤氏は世界ハーモニカ百年祭にドイツへ招かれたこと）それから数年して私が日本へ帰り「短音階ハーモニカ発表演奏会」を東京の日比谷公会堂でやった時、その楽屋へ尋ねて来たのがトロボ父子——現社長の父君（泰光氏）と祖父（清次郎氏）——で、「今御講演を伺いましたが短音階は音楽的に見て、今後我がハーモニカ界には無くてはならない楽器となるでしょう。先生の事だから多分日本楽器とお約束があるでしょうが出来れば是非トロボに作らせて戴きたい…」父子が熱心に私を説いた。（中略：戦争でトロボ会社もハーモニカの製造を中止せざるを得なくなったなど、いろいろ苦難の時代があったこと）真野氏とは此んな事があって以来ずっと兄弟の様な交際であった。思えば夢の様であったが、真野氏が亡くなってもご子息の泰治氏が現全連会長だし、私の方の斎藤寿孝君との若きコンビが続いているので私はそろそろひっこんでお二人の腕前をゆっくり拝見する事にしようかと思っている』

（編集室注：トロボ製作所現社長は真野照久氏、父親の泰治氏は現会長、泰光氏は祖父、そして清次郎氏は曾祖父にあたる）

この他に真野泰光氏発行「手風琴名曲集」（アコーディオン曲集）の貴重な資料もお寄せいただきました。興味ある方は寺村安雄様へお問合せください。

トロボ製作所は 100 年の歩みの中で、このような経緯を経て、現社長の照久氏が泰治氏を継いで新たな 101 年目に向かわれます。私たちハーモニカ愛好者としてエールを送りたいとの考えから今回ご寄稿をいただきました。



昭和 60 年発行 口琴芸術第 8 号表紙



昭和 9 年発行 手風琴名曲集 第一輯表紙

# 静かだった日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会コンサート

吉村則次

生駒山近くの、1224席の大東市立市民会館サーティホールで

2017年6月4日(日)、恒例の日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会コンサートが、大東市のサーティホールで開催された。ここは、14年前の2003年に、当連盟の関西ハーモニカ祭りを開催した会場でもあるので、覚えておられる方も多いと思います。

当時、私は同じ建物の3階にある大東市立公民館で教室をしていた関係で、私が会場を予約して世話役をやりましたので、よく覚えています。

その時のプログラム数は104件で、一つのホールでは賸り切れないので、小ホール(今回はリハールサル室として使用したホール)はソロ、大ホールはアンサンブルと、分割して開催しました。この時「2会場1日開催」のやり方に来場者に不満が残

り、その後は、現在まで「1会場2日間開催」となっています。

今回の席数は、ワンフロアで1224席という大きな会場ですので、当然と言えば当然の状況でした。当然、客席は静かで、聞きやすいコンサートではありましたが、客席で録った録音を聞いても、私語は全く聞こえません。ロビーも広大で人が少なく、静かで、出店のスズキ楽器さんの売り上げはどのくらいあったのか、ちょっと気になります。

プログラム数が55件。2003年の同じ会場で開催した当連盟の主催のものは104でしたから、今回は昼の休憩時間もとっていましたが、1会場で十分でした。



ハモニカ館アンサンブル



堺ハーモニカアンサンブル

## ハーモニカのおかげで小旅行

当日は真の意味での快晴で、ロビーの大きなガラス窓からは、すぐ近くに生駒山が見え、ロケーションもJR京橋から快速で二つ目の住道駅近く(途中で快速停車駅として、関西の人しか正しく読めない「放出」がある。住道も読みにくい地名)と、最高の便利な会場ではありました。

「JR住道」の先は、東海林太郎(これも若い方は読めない)の歌でよく知られている「野崎観音」で有名な「野崎駅」で、その次が「四条畷駅」で、かつてその近くの飯森山にはお城があり、豊臣秀吉の前には、ここを拠点にして、四国からの三好一族が近畿全体を治めていたというようなことを知ると、歴史的にも興味のある場所でした。

ちなみに、野球でも有名な大阪桐蔭高校も、大

東市にあります。更に述べると、途中の沿線には近畿車両があり、出荷待ちや製作途中のいろいろな車両が、電車の中からも見る事ができました。また「鴻池新田駅」は、鴻池氏が新田(農地)を開発した中心地で、今も鴻池の大きな屋敷が残っており、電車から見下ろせました。鴻池は人名ですが、周辺には鴻池何々という地名も多くあるようです。

このような「小さな旅」ができるのも、ハーモニカに親しんでいたお陰と感謝しています。日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会コンサート及び当連盟のハーモニカ祭りのお陰で、和歌山、橋本、三田、篠山、榎原、明石、大和郡山、王寺、高石、岸和田等々に行くことができ、いい思い出が残っています。

## 間中勘先生のご冥福をお祈りいたします

### 訃報

全日本ハーモニカ連盟参与、日本ハーモニカ芸術協会顧問、間中勘氏、かねてより病氣療養中でありましたが、6月30日午後3時15分、89歳にて永眠いたしました。

ハーモニカ界に残された功績は非常に大きく、ここに生前のご厚誼に深く感謝いたしますとともに謹んでご連絡申し上げます。



(ハーモニカライフ 77号より転載)

### 間中先生を悼む

関西ハーモニカ連盟理事長 吹上晴彦

佐藤秀廊先生の高弟で、当連盟もお世話になっていた間中勘先生が亡くなられました。最後にお目にかかったのは、先生に西日本ハーモニカコンテストの審査員をお願いした2010年の第8回コンテストの時でした。1980年(昭和55年)6月 兵庫県農業会館ホールでのハーモニカ渡来85周年「関西佐秀会合同大演奏会」や1997年(平成9年)10月 アクトシティ浜松で開催された「第3回 浜松ハーモニカフェスティバル」で一緒させていただきました。目を閉じると、いつも物静かで、ニコニコされていたお姿が浮かびます。深く静かに、間中勘先生のご冥福をお祈り申し上げます。

関西ハーモニカ連盟常任顧問 吉村則次

間中勘氏が、89歳にて、2017年6月30日に逝去されたと、トンボファミリークラブの「ハーモニカライフ 77号」で知りました。ご冥福をお祈りいたします。

間中勘氏については、27ページに掲載の鈴木三義氏編著の「ハーモニカをポケットに入れて・・・今は昔・・・」に、ご本人による「間中勘回想録」が転記されており、また、同誌には、砂川ひろみさん、高橋早都子さん、ほか多くのかたが、間中勘氏との思い出を書いておられる。私が持っている、60年前の昭和32年発行の全日本ハーモニカ連盟発行の「ハーモニカ研究」には、「ニュース・消息」として、「間中勘氏 電話開通 34局1432番」と掲載され、「ハーモニカに救われた吃音＝間中勘氏の挿話＝」という記事を、週刊サンケイ・魚川佳人が書いておられる。日本のハーモニカ界は、偉大な方を失ったという感じである。



## ポコ・ア・ポコ

### 「国民文化祭・なら2017 プレイベント」でPR演奏！

村上博昭

2017年6月17日(土)、はぐくみセンター(JR奈良駅南口)にて「第32回国民文化祭・なら第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会の奈良市プレイベント」として、ハーモニカミニコンサートが開催されました。

出演は「ハーモニカアンサンブル ポコ・ア・ポコ」で、『さんぽ』、『川はだれのもの』など5曲を熱演し、会場の約150名から盛大な拍手をあげました。

サブタイトルが「にぎわい市場 オープニングコンサート」で、市場へ買い物に来られた人も多く、初めて聞くハーモニカアンサンブルに興味津々の様子でした。

主催は奈良市で、文化振興課員やボランティアの多数の方々で運営に参加されました。会場のディスプレイもオリジナルで作成され、9月2日東大寺でのオープニングに向けての盛り上げ・意気込みを感じました。



### 「やまとしうるわし おもしろし」

ポコ・ア・ポコ 青木鈴子

9月2日のオープニング「開会式」が東大寺大仏殿前で盛大に執り行なわれたことでしょう。いよいよ10月7日8日のハーモニカ祭りの開催です。6月17日(土)、ポコ・ア・ポコは奈良市からの依頼を受け、国文化祭プレイベントに参加しました。場所は奈良市はぐくみセンター。当日は地域の特産品を販売されるにぎわい市場の日でもあり、多

くの方々にハーモニカ演奏を楽しんでいただきました。懐かしく美しい複音ハーモニカの音色に聴き入っていただきましたが、なんといっても世界で一番長いコードハーモニカや大きなバスハーモニカはみなさんの興味を惹きますね。

さあ、本番！「やまとしうるわし おもしろし」大いに盛り上がりましょう。

## 堺市北区音楽祭で5曲

堺ハーモニカ・アンサンブル 吉村則次

2017年7月8日(土)午後、堺市北区の区役所の1階の吹き抜けロビー(250席)で開催された堺市北区役所主催の音楽祭に参加しました。

この音楽祭は、毎年定期的に開催されているもので、昨年までは少人数の、別の名前のアンサンブルとして参加して来ましたが、今回は、堺ハーモニカ・アンサンブルのメンバー全員14名で参加し、「浪路はるかに」、「Don't Blame Me」、「マシュケナダ」(メンバーの服部恵美子のソロ)、「I Don't Know Why」、「大きな古時計」の5曲(15分間)を演奏して来ました。

ハーモニカを吹かない方の前で演奏できたことは、ハーモニカで楽しい音楽ができることを知ってもらった点で、良かったと思います。(堺市では、各区分別に同種のものが開催さ

れている様子です。出場資格は、その区内に在住・在勤・在学し、活動している、という条件が付きます。また、区の区民センター、公民館単位でも、文化芸術祭りという趣旨の会が開催されています。)



堺ハーモニカアンサンブル 堺市北区音楽祭  
2017年7月8日 堺市北区役所ホール

## 錦織のり子さん、FIH クロマチック・クラシック部門 2位

吉村則次

2017年6月4日(日)、東京の全電通ホールで開催されたFIHジャパン主催のハーモニカコンテストに於いて、当連盟と関連のある次の方々が入賞されました。部門、順位、氏名、演奏曲名の順、以下の通りです。

クロマチック・クラシック部門 2位 錦織のり子「ラブソディ・イン・ブルー」(当連盟会員)

クロマチック・ジャズ・ポップス部門 3位 大村義宣「恋人よ」

(2016年西日本ハーモニカコンテスト、クロマチック・ジャズ・ポピュラー部門で優勝、旧会員)  
デュエット部門 2位 ぼけていーの「Winding Road」

(二人とも関西在住、2016年西日本ハーモニカコンテスト、デュエット部門優勝)

アンサンブル小編成部門 1位 厚木ひまわり「アムール河の波」

アンサンブル小編成部門 2位 トライアングル2017「三本の矢」

(岡山市の松岡直樹氏が代表、トリオの他の二人は関西在住です)

アンサンブル小編成部門 3位 コンプリオ「秋の歌」

アンサンブル大編成部門 2位 愛川ハーモニカアンサンブル「バルスイレーモン・ワルツ」

厚木ひまわり、愛川ハーモニカアンサンブル、コンプリオ、等はメンバーは少し異なるかもしれませんが、10月8日(日)の国民文化祭・なら2017ハーモニカ祭りにお出でになるので、聞くことができる予定です。

### 第三回 岩崎先生から教わった演奏上の技法 岩崎先生の開放ベースの豊穡な音色

<あつぎハーモニカ協会 「AHA 会報」からの転載>

岩崎先生に教わった複音ハーモニカの技術、今回はその根幹の部分、岩崎先生の素敵なお音色について思い起こしてみたいと思います。

耳の良い人ならば気付いていたと思いますが、岩崎先生の音色は澄んでいて芯があり、特に開放ベースの音色は真似のできないオンリーワンの美しさでした。その音色は均一な和音から成っており、「シャー」というまるで粉雪のシャワーのようでした。

当時先生は自身の開放ベースに近い音色を出す人として、門下の青葉台の渡辺定広さん、寒川の横田弘さんを挙げていらっしゃいました。また、先生が師事していた事のある川口省吾さんも同様の音色を持っていたと話していらっしゃいました。

今思うと、先生を含めたこの4名に共通しているのは、非常に顎がしっかりしているという身体的特徴がある事、そして歯えが極めてがっちりしているという事です。つまり、音を共鳴させている母艦の厚みが違うのです。

この事は、平均的な顎の人が良い音を出せないという事ではなく、どのような要素が良い音の原因となっているのかを示しています。

顎が関係してくるのは、ハーモニカを歯える下唇側の押さえです。そして下唇の押さえがしっかりと、必然的にハーモニカは口の内部にしっかりと包まれ、高い一体感が生まれます。まずはその形から見ていきましょう。

#### ■歯え方の構造



平均的な人の顎ではまっすぐにハーモニカを歯えようとすると、図Aのように下方の押さえ面積が足りない状態になります。

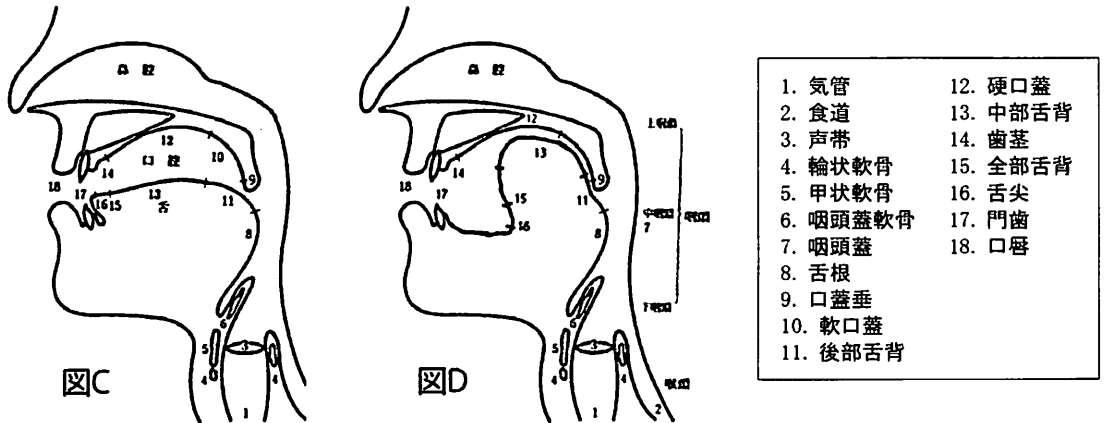
今まで違和感無く歯えていた人も、7穴以上の広さを歯える時に「受け口」をするように顎をやや前方に出して(図B)、下方の押さえ面積を増やすことにより、がっちり歯える事ができます。(この時、ハーモニカは歯よりも前方ではなく、歯で挟む形になっていますが、カバープレートにはスレスレで触れていません。)

#### ■舌の位置の構造

次に岩崎先生に見せて頂いた口の内部のイメージを思い出しながら、内部の構造を考えてみたいと思います。

私の記憶では、先生の口の中は正に「舌」でした。全面舌。舌が立ち上がっているような感じとでも言いましょうか。(図 C は通常時、図 D が先生の開放ベース時の舌の状態)

この状態を舌の筋肉を使って作り出すのはとても難しいので、必然的にこのような形になる方法を考えてみます。



まず鏡の前で口を大きく開き、「ハ」と発音してみましょう。この時、のどひこ(図 C・D の 9 番、口蓋垂)が見えている事を確認してください。この「ハ」の口の開きのまま、「フ」と無理やり発音してみましょう。そうしますと、グッと舌が起き上がると思います。これが図 D、即ち岩崎先生の開放ベース時の口内の形です。

### ■息の流れの構造

最後に、この口内の形が何故あの岩崎先生の美しい和音を生みだしていたのか、息の流れについて考察します。

通常図 C のような舌の位置でハーモニカを吹いたなら、息はまつすぐにハーモニカの穴に直撃します。吸い音の場合はまつすぐに喉の方へ吸い込まれます。この状態をハーモニカの発音体であるリードに注目して考えてみると、まつすぐに直線的な息による「吹きつけ」によってリードが発音します。

これに対し図 D の舌の位置の場合、息は 8, 11, 13 番を経由して(遠回りして)、14 ~ 17 番で囲まれた空間に下りてきます。そしてこの下りてくる方向はハーモニカの穴に対しほぼ 90 度、直接穴に入る事はありません。この広い空間の中で大いに循環して穴に入り、ゆっくりとリードに到達し「震わせ」ます。発せられた音もすぐには消えず、広い空間の中で共鳴します。

この共鳴音こそが岩崎先生の開放ベースの豊穡な音色の秘密ではないかと、私は考えています。

ちなみに銜え方と息の流れがどのように関わってくるのかと申しますと、顎の銜え(下唇の押さえ)が浅いとハーモニカが図 D の 17 番門歯よりも外にあったり、中にあっても門歯に近いほど息の流れが循環しにくく直線的になりやすい為です。

最後になりますが、今回扱ったテーマは単音を鳴らすときにも大いに関係があります。即ち、ハーモニカは「吹きつけて」鳴らす楽器ではなく、「震わせて」鳴らす楽器 0 なのだという事です。これは、初学者を悩ませるプレスコントロールの問題と表裏一体です。プレスについては、また機会があれば別の稿でお話できればと思います。

文責：水野隆元(広報部)



# ♪ ハーモニカが上達するための大切なこと (68) ♪

全日本総合音楽院・院長 世界ハーモニカ連盟日本支部 (F・I・H) 役員 池田輝樹

## ⑥ハンド・カバー奏法

パイプ式や特殊なハーモニカ等々以外は、下側の現在奏するところを左手の親指と4本の指ではさんだハーモニカを、右手で下からおわんのようにふたをします。左手と右手の手首は普通はくっつけて、開いたり閉じたりすると音は波のように流れてゆきます。左手の指先のみや左と右の指先を同時に開閉したりするといろんな形のハンド・カバー奏法が出来ます。開閉の速度によっても各種の効果が得られます。

## ⑦重音奏法

(1)三度奏法 (2)四度奏法 (3)五度奏法 (4)六度奏法 (5)七度奏法 (6)八度奏法 (オクターブ奏法) (7)九度奏法 等々

三度奏法は口を少し横に開きます。舌を真中に当てると、くわえ方によって、四度、五度、六度、七度、八度、九度等の奏法が出せます。くわえ方を浅くしたり、深くしたりして調整をするのです。

## ⑧分解和音

シングル奏法 (一つの音のみ出す)、三度奏法、四度奏法、五度奏法、六度奏法、八度奏法 (オクターブ奏法) 等々を各種組み合わせ奏します。楽器を浅くくわえたり、深くくわえたり等、舌の操作も加えてうまく演奏します。

## ⑨ガット・トーン奏法

アでもオでも良いので言葉を言いながら楽曲を奏します。ただし吹音のみに限られます。

## ⑩ジャングル奏法

吹音の時は舌をルルルルルル等のように巻き舌で音を出します。吸音の時はイビキをかくようにノドの奥でガー、ゴー、等と言いながら奏します。

## ⑪ベース奏法

IやAで示されますが、現在のところ絶対的に決まった書き方は見当たりません。Aはアタック等と混同されやすいのでI等で示すと無難のようです。舌を左に当てて、はなしたり、付けたりをします。舌を右に当てて奏する高音ベースもあります。くわえ方を変えると、大ベースや小ベース等々いろいろ出来ます。ハ長調 (C) のハーモニカの場合、吹音は主和音で、吸音は Dm<sup>6</sup> みたいになりますので、やたらにベースを使わないで原譜をよく見て、和音によくよく留意すること。原譜と違う和音が出ると、でたらめの音楽になってしまいますので注意して下さい。

ベースの練習の教則本みたいなものは現在のところ、あまり出ておりませんので将来的に、作ることが大切だと思います。

現在、「ドレミ楽譜出版社」から私著のハーモニカ教則本が出ておりますが、その中の P35 に「音階練習によるベースの練習曲」が No.1 から No.24 まで、掲載しておりますので参考にして下されれば幸いに存じます。高音ベースの事も少し書いておきました。

以前にも書いたと思いますが、教育用シングル・ハーモニカも吹き方によって多少ベース奏法ができます。楽曲によって、CとC#の2本を使って (固定ド等)、ピアノやギター等の伴奏つきで奏したり、又、無伴奏で、(移動ド) で各種の調子の楽器を使ったり、10穴フォーク・ブルースやクロマチックや複音や教育用シングル・ハーモニカ等を、楽曲によって使い分けて楽しく奏して下さい。

## ⑫その他

奏し方はいろいろ工夫することによって、各種のことが出来ると思います。舌と両手とノドや器具等 (お椀、等) をうまく使うことにより、効果的な音が出せたりすることがあります。ただし邪道的なものは、避けること、しないことが大切です。

ずっと以前（戦後間もない頃）私の恩師の南部信喜先生の自宅をさがして、訪ねて来て、ハーモニカをくわえたまま、背中をたたいてくれと言うので、たたくとゴホン、ゴホンと言う音がして、ティンパニー奏法と名付けることにしましたと言う方が居られました。笑い話みたいなものですが、その方のお名前は個人的な尊厳により言いませんが、ハーモニカ界では有名な方で、自分からハーモニ

カの鬼才と称しておられた方でした。大体、自分自身で自らを鬼才とか天才とか言うこと自体がおかしなことだと思うのです。あくまでも謙虚でありたいものです。以前にも言ったと思いますが、自分自身が上手だと思った時は、その人の演奏は下降をたどっております。どうして自分自身がこんなに下手なのだろうと思って毎日努力に励む方は上達への道をたどっていると思うのです。

## 日本の宝物「童謡」誕生 100年 ハーモニカで伝えて！

日本童謡協会会員 もり・けん

1918年7月1日、児童文学誌「赤い鳥」主宰者鈴木三重吉は訴えました。日本の音楽教育は明治になってから海外の子どものための音楽を使い、それに詩をあてただけのもの、例えば「蝶々」のようなものでした。鈴木は「小さい子どもにこそ純正で、芸術性の高い本物の作品を与えるべきである」との考えから児童文学誌「赤い鳥」を創刊しました。そしてその考えに賛同した有島武郎、泉鏡花、北原白秋、芥川龍之介、高浜虚子、徳田秋声、野口雨情らによって子どものためのお話や歌が生まれていきました。この動きを「赤い鳥運動」と呼んでいます。創刊後、参加した、小川未明、坪田譲二、菊池寛、西條八十、谷崎潤一郎、三木露風らを加え、その後たくさんの童謡が生まれて、「赤い鳥」のほかにも「金の船」「童話」など、児童文学誌がたくさん誕生して、童謡が作り始められました。

私は、来年100年を迎える童謡を消してはならないと、全国を回って訴えています。多くの連盟会員は、童謡や昔話で育ちました。そのおかげで、優しい心や、道徳観、日本の伝統、四季の移ろい、昔話、偉人たちの話などに触れて、日本人にしてもらいました。父母や祖父母から伝えてもらったからです。

現在、子どもや若い父母、若い先生はこの

大切な童謡が歌えません。歌えないのが悪いのではありません。伝えなかった私たちが悪いのです。だから私の活動があります。ぜひ、ハーモニカという武器をお持ちの連盟会員諸氏に今年、来年は童謡を演奏してもらいたいのです。そしてそれを後世に伝える責務を果たしてもらいたいと思います。

\*「赤い鳥」から生まれた作品（一部）  
「蜘蛛の糸」「杜子春」芥川龍之介、「一房の葡萄」有島武郎、「お馬」鈴木三重吉、「ごん狐」新美南吉、「からたちの花」「砂山」北原白秋、「かなりや」西條八十、「赤い靴」野口雨情





# Jalousie

提供 寺村安雄

ジェラシー

Con fuoco



Am E7

6 · 3 #5 | 5 5 #4 4 3 |

ジェラシー — きみがメ

Bm6 Am E7 Am

4 0 1 3 | 3 6 7 1 | 1 7 | 7 1 1 2 3 4 |

ロ ティ — ひるも いるも — われがここ

D Am E7 Am E7

4 3 | 3 · 3 4 #4 5 #5 | 6 0 3 #5 | 5 5 #4 4 3 |

ろを — かきみだすメロ ティ — きみこそ

F C F7 Bm

4 · 1 3 | 3 3 2 1 | 1 7 | 0 6 7 6 5 #4 |

われに — ゆめをよぶ あまくやさ

E7

3 — | 3 0 3 7 4 | 3 7 1 | 2 3 7 |  
し ———— この う た き く と き わ

Am

A7

7 7 7 1 7 6 | 6 — | 6 3 4 | 5 6 3 |  
か ———— む ね み だ れ さ り に し こ い

Dm

E7

Am

E7

3 3 2 4 3 2 | 2 — | 0 7 7 1 | 2 0 0 |  
の ———— お も い で に な み だ は

Am

E7

Am

0 7 7 1 | 2 0 0 | 6 6 6 3 | 0 6 6 4 |  
あ ふ ね て ほ ほ お は つ た う

E7

A6

5 — | 5 0 3 ||: 6 3 7 | 6 7 5 | 6 — |  
よ ———— よ り そ い ふ た り の

E9

E

A

E

6 0 6 | 7 5 3 | 2 3 7 | 5 — | 5 0 7 |  
— こ こ ろ あ つ く も え ———— や





A E

2 i 7 | 2 i 2 i 7 5 — | 5 0 6 |

さ し き き み が ひ と み — あ

Ab A

i 7 6 | i 6 i 7 6 3 5 — | 5 0 5 |

い を か た る そ の こ と は — わ

Ab F Ab

6 3 7 | 6 7 5 | 6 — | 6 0 #6 |

が こ こ ろ も え し — あ

E A E A

7 5 3 | 2 3 7 | 5 — | 5 0 5 |

の よ の う た げ よ — た

Ab E A E F A

6 5 i | 6 5 3 2 i 3 | 2 i 6 | 5 5 5 |

の し き お も い て よ こ こ ろ ゆ す る あ

E

1. 2.

A

5 6 7 | i — i 0 5 :|| i — | i . ||

の う た よ — よ —

## 私のハーモニカ人生（米寿にあたりて）

隅 啓治郎

いつまでも青年と思っていたのに本年は米寿となり、自分の人生を振り返ってみました。ハーモニカ歴は50年になります。子どもの頃、楽器店でピカピカ光るハーモニカを見て“欲しい”と何度思ったかしれませんが当時は大変高価で、「買って!」と言えませんでした。ある日、父親がハーモニカを買ってくれたのです。それは嬉しくて毎日、小学唱歌と軍歌を吹いていました。

戦後いろいろな仕事をし、ステンレス加工機、電気溶接機制作に携わりながらハーモニカを本



関西医大 クリスマスパーティー

格的にやるようになったのは阪急百貨店で佐藤秀廊先生のハーモニカの教則本を手にした時からです。それから3年間練習を重ねました。

世界ハーモニカ連盟の主催する「ジャパンコンテスト」が1985年9月1日、大阪梅田の阪急オレンジホールで開かれ、私もこの大会に出場しました。審査員は日本の代表的演奏者の崎元譲さん、斉藤壽孝さん、堀部隆次さんをはじめ錚々たる方々でした。



ハーモニカショー



くずは中央公園にて

私は複音部門に出場、「酒は涙かため息か」と「ゴッドファーザー愛のテーマ」の2曲を演奏しました。演奏会終了後、会場を出ようとした時、関西ハーモニカ連盟の小林忠夫先生から「京都エンゼル会館で演奏会があるから来るように」と招待状を頂き、その後京都での集いや演奏会にも参加させていただきました。小林先生は私にとってハーモニカの恩師です。



2006年7月 そごう滝の広場にて 三木楽器主催

定年退職後も仲間に援けられて仕事もハーモニカ演奏の活動も続けてきました。大阪心斎橋そごう百貨店（現大丸百貨店）「滝の広場」、大阪ミナミのスナック、会社OB会、地域の関西医大のクリスマスパーティー、医療法人美杉会男山病院での“昭和懐かしのメロディー・ハーモニカショー”などに出演し、大いに喜ばれました。

私自身は一昨年、右膝関節炎で手術を受け、現在はリハビリ中ですが、これからも体調が整い次第、演奏したいと思っています。



ハーモニー編集室では、読者の皆様からのハーモニカに関連する「お役立ち情報」の提供や「教えてほしい事」の呼びかけやトピックス等の投稿を歓迎します。投稿者氏名と希望するタイトルを付けて編集室宛てにEメールにワード文書添付でお送り下さい。但し原稿の内容やページ数の都合で全て掲載されるとは限りません。

#### ◆丸谷明夫氏の言葉について — 第二回研修会報告補足（源馬英人）

P6に記載の「2017年度第2回研修会」報告記事において、吹上先生から紹介された丸谷明夫氏の「息」＝「自分の心」という考えには、多くの人々が「我が意を得たり!」と賛同したのではないだろうか。実は、辞書を引いてみると、「息」という漢字の「自」の部分は「鼻」を表し、「心」は「心臓」を表すと説明されている。つまり、心臓から鼻に抜けるもの（あるいは鼻を経由して心臓と外界をつなぐもの）として人間の呼気と吸気をとらえ、それを1つの漢字で表したのが「息」である、ということのようである。だが、「心臓」であれ何であれ、「心」が我々の中心にある最も大事なものを指すことに間違いのないし、それは当然ながら「ここ」にも通じる。（因みに英語では、「心臓」も「ここ」もともに「ハート」である。）その意味において丸谷氏の言葉は、息を使って音を出す楽器の演奏者に向けた教えとして誠に適切であると言えよう。氏の言葉に報告者もまったく同感である。

#### ◆箏篋ハーモニカ 後日（渡辺晃志）

「記事読みましたよ!」と声をかけられて気をよくし、箏篋ハーモニカ後日編を書きます。母が亡くなってから17年、実家の母の居室も代替わりで改築され、古い箏篋も家族の思い出を一杯詰めて母の元に旅立ちました。もう箏篋ハーモニカの音色を聞くこともないと思っていましたら、ネットで次の記事を見つけました。

##### ハーモニカたんす

特別展「民具王国びっくりミステリーツアー」で一二を争う人気の資料が「ハーモニカたんす」です。このたんすはただのたんすではありません。引出しを開け閉めすると「ファ〜」とハーモニカのような音が鳴るので「ハーモニカたんす」と呼ばれています。空気が入り出すと音が鳴る仕組みになっています。ハーモニカは「息を吸う/吐く」で音が違うように、ハーモニカたんすも一つの引出しを「引く/押す」で音が変わります。音が出るのは、防犯の目的のためようです。（中略）ハーモニカたんすは、普通のたんすと比べて高価であるとか時間がかかるというわけではありませんが、空気もれないしっかりしたたんすでないといけないそうです。それをお客さんに説明するために、引き出しを上下逆にしても入れ、精密な作りだということをお見せしたりもしたそうです。（後略）<http://www.i-rekihaku.jp/gakublo/tokubetsu/2794>

この記事を読んで、最近分解した二つのハーモニカの仕組みに驚き、水洗いもいとわない樹脂製ハーモニカとの違いを調べてみようと思い立ちました。二つのハーモニカとは、本体とリードプレートの間に接着剤あるいは樹脂製テープを挟んだもので、息漏れ防止とは思いますが、素人の手出しを拒む構造に好奇心が沸きます。左甚五郎の削った2枚の板が、なんとしてみはがせない講談を、現代に再現できないものかと思いをめぐらします。



#### ◆Tokunaga Sound 新シリーズ販売開始 (吉村則次)

当連盟特別顧問の徳永延生氏が、「TOKUNAGA SOUND」というクロマチック・ハーモニカのアレンジ楽譜集の販売を、6月1日から開始された。アドリブ付き楽譜(全部穴番号付き)、各10曲収録の楽譜集で1冊3,000円(税込み、送料無料)。7月20日現在、次の8冊80曲が発行されている。模範演奏及びカラオケのCDはついていないが、模範演奏はYou tubeで、またマイナスイオン音源も同じくYou tubeで取得することができる。

『ポピュラー1, 2, 3, 4』 『歌謡曲1』 『J-POP 1, 2』 『山口百恵曲集』

収録曲名は「徳永延生 アレンジ曲集」で検索して見ることができる。詳細は徳永ハーモニカ教室へ。  
06-6934-7266 harmonikatokunaga@gmail.com

#### ◆岡直弥さんが心齋橋の国際楽器で開講 (吉村則次)

当連盟準会員の岡直弥さんが、次の通り教室を開講される。この原稿を書いているときは、これからの話で、この会報が発行されるときには、残念ながらすでに終了しているが、デモ演奏、公開レッスン等もされた。

(9月2日 大阪市中央区心齋橋 国際楽器社 4F ホール)

国際楽器社 音楽教室 クロマチック・ハーモニカ

講師 岡直弥 (当連盟準会員 23歳 当連盟主催西日本ハーモニカコンテスト優勝、  
FIH(全国)コンテスト優勝とグランプリ受賞)

個人レッスンは、月曜と金曜 60分 月2回 11,340円

予約、問い合わせ等 06-6252-0222 国際楽器社

#### ◆1.352kg、厚さ23mmのハーモニカの本 (吉村則次)

さいたま市のハーモニカ愛好者、鈴木三義さんが、「ハーモニカをポケットに入れて・・・今は昔・・・」という題名のハーモニカの本を、自費出版された。

なんと、A4判、重さ1.352kg、厚さ23mmの大きな本。手で持って読んだら、しんどいといったら理解していただけるでしょうか。

この著者とは、かつて神奈川県厚木のハーモニカ・コンサートの楽屋で、大矢博文さんや岩崎重昭さんといっしょにお会いし、そのとき、ハーモニカの本を書いているので協力してほしい旨話されました。大矢博文さんが、私のことを、ハーモニカの海外事情やハーモニカの歴史に詳しいと紹介したのだから、私も協力を依頼され、関西地域の資料の提供や原稿を提供したものです。私が提供した平口謙二氏が今から33年前の1984年昭和59年に編集した「関西のハーモニカ」が、非常に役に立ったようです。私以外の当連盟の方では、和谷泰扶さん、宇佐美進さん、森本恵夫さん等の文章も掲載されている。

内容も非常に重たい。ハーモニカの起源から、日本のハーモニカの発展を、明治時代、大正時代、昭和時代(戦前・戦後)に分けて、資料(各メーカーの楽器の写真、楽譜の表紙、広告、プログラム等)とともに記載されている。ハーモニカを永年愛好しているのに、知らなかったことがいっぱい。

ハーモニカが日本に入って以来の、ハーモニカの普及発展に貢献された個人等を、詳細に書き上げ、また、現在の多くの方(原稿の提供の時期と発行の時期の差から、そのうち





にはすでに亡くなられた方も多い)が記事を提供されている。

これを読んで、私はいい意味に於いて非常に重苦しい気持ちになった。これだけの記事、写真、資料等を集められた著者の努力には頭が下がります。「素晴らしい本」というより「すごい本」です。

興味がある方は、直接鈴木三義さん 048-641-3991 へ。限定 700 部、私家版、販売価格 4,000 円 (税込み、送料別)。

#### ◆戦争体験記Ⅱ (菅村一雄)

会報「ハーモニー」211 号の「れんめいひろば」に大津市障害者福祉センターの冊子「きらり」に掲載された「戦争体験記」のことを記しましたが、「8 月 15 日終戦記念日」に寄せて、再度、私の「戦争体験記」が掲載されています。「隣組」というリズムカルな国民歌謡を取り上げながら戦中戦後の苦しかった実体験のさまざまな場面を綴っていますが、京都西洞院で帯メの紐や友禅に関わる技術を覚え町工場を起こした私の祖父や両親の生きざまと苦勞を記した家族の歴史でもあります。続きは私のライフワークとして書き残しておきたいと思っています。「わが人生に悔いなし」のメロディーをハーモニカにのせて。

全文 (約 2000 字) は大津市障害者福祉センターのホームページの「きらり」<http://nionohama.com/kirari/kirari0101.html>に掲載されていますので、ご覧いただければ幸いです。

## “行って！見て！聞いて！” (私の備忘録) vol.6 「バリダンスとジャワダンス」

岩本洋之

7 月 29 日に日本・インドネシア友好協会奈良 (\*1) では在大阪インドネシア共和国総領事館と共催で「インドネシア伝統舞踊の会」を開催しました。「古都奈良でバリ島とジャワ島の文化を味わって欲しい」との総領事の願いで実現しました。今回の見どころは二つありました。

バリダンスとジャワダンスを一緒に観ることが出来た。(滅多にない事です。)

「バリとジャワの音楽の違い」についての解説を聞くことが出来た。

会報「ハーモニー」212 号 20 ページの池田輝樹先生の話の 5 音階の中に「ペロック・スケール」という音階が出てきます。この音階はインドネシアにおける代表的な音階の一つですが、バリで有力な音階であり、もう一つの代表的な音階に「スヘンドロ」があります。こちらはジャワ島で有力な音階とされているとの事です。インドネシアには約 300 の民族が居て、スンダ、パタック、アンボン、マルク、マドゥラ等、個性的で楽しく、美しい歌が沢山知られています。

日本人には日本人が受け継いできた固有の DNA が備わっているように、熱帯の島国で何万年と生き延びてきたインドネシア人には日本人の何倍もの聴力や自然に対する感受性が備わっているように思われます。「刻々と変化する風の音」「頭上から降りてくる色々な鳥の鳴き声」「ジャングルから漏れ聞こえてくる猛獣の叫びや猿の悲鳴」等を考えれば北国の民族とは違う DNA を持ち、西洋とは異なる種類の音楽が生まれるのも理解できます。ジャワ、バリ以外の音楽についても、もっともっと評価されるべきかと思いました。

(註 \*1) : 編集後記に関連の記述があります。

## 連盟サイト閲覧手引き Ⅲ

HP担当 渡辺晃志

関西ハーモニカ連盟の公式行事および連盟会員の活動状況を掲載するホームページです。広報誌『ハーモニー』を補完するツールとして閲覧ください。



### 1. アルバム

数々の演奏会・交流会の記録を掲載します。

懐かしい交流風景・演奏の模様は、明日からの練習の励みとなることでしよう。

### 2. リンク

- 各地のハーモニカ団体・協会のページへ
  - ハーモニカメーカーのページへ
  - 複音ハーモニカ奏者のページへ
  - 研修会にお出で頂いた先生ページへ
  - プロの演奏家のページへ
  - 大学ハモソのページへ
- それぞれリンクしています。

との声を聞くことが多くなりました。その声の多くは直接被害を被ったのではなく、人づてに「そんな話を聞いた」というケースがほとんどのように思います。

23年間パソコン教室を開いて3,000人近い生徒を送り出しましたが、この間2件のウィルス感染を経験し駆除しただけです。

私自身は対策ソフトとOSとアプリの更新を怠りませんでしたので、今日まで無事故で過ごしております。

とは言え、やはり心配な方は

総務省 安心してインターネットを使うために!

国民のための情報セキュリティサイト

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsin/security/basic/service/index.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsin/security/basic/service/index.html)

を是非とも閲覧してください。加えて

IPA Better Life with IT 情報処理推進機構

<https://www.ipa.go.jp/index.html>

### 3. 会報バック No

連盟の広報誌「会報」「ハーモニー」の電子版を掲載しています。

只今111号から現在まで収録しましたが、創刊号までが埋まることを願っています。

1991年111号に、第2回関西ハーモニカ祭り募集要項があり、ソロ出演料として前売券10枚付き7,000円(当日券10,000円)負担に、当時を知ることが出来ます。まさに「温故知新」でしょうか。

### セキュリティについて

インターネット利用者から、セキュリティが心配

の閲覧もお勧めです。

そして、実際に感染したケースとその対策について、下記サイトを閲覧し、ソフトメーカーサイトの現状も知り、安心のレベルを上げてください。

<https://www.yoshikawa.co.jp/ybs/skilup/ybs2109.htm>

残念ながら連盟サイトでは、ウィルスの相談に応じられませんし、そのスキルもありません。まずは、上記を熟読しご自身で安心を勝ち取る事を願っております。

## 会報「ハーモニー」についてのアンケート報告 <その1>

今回のアンケートには114通の回答が寄せられました。ご協力ありがとうございました。アンケートの結果報告を作成中ですが、報告<その1>として会報「ハーモニー」へのご意見ならびにハーモニカ普及へのアイデア等に関する「生のご意見」の一部をここに報告致します。皆様のご意見やアイデアがきっかけで連盟全体での色々な取り組みが生まれることを期待します。

### 設問番号5. 会報に新たにどのような記事を希望されますか？

- ①各号に「テーマ」を決めて、ハーモニカの先生等に個別に依頼して書いてもらう。
- ②ハーモニカ以外の音楽家、演奏家の「音楽」に関する話。(硬軟いろいろ)
- ③作曲家の十河陽一先生のお話し。(インタビュー)
- ④各部署のリーダーのご意見。

### 設問番号6. 若い方はどのような話題に関心を持つと思われますか？

- ①バラエティに富んだ曲が聴ける・吹ける・練習できる。
- ②バンドの中でのハーモニカの演奏。
- ③Youtube や Line による発信。
- ④何事にも頂点を極めている人。

### 設問番号7. ハーモニカ音楽の普及についてアイデアがあればお書き下さい。

- ①ハーモニカコンサート以外のステージ(地域文化祭、サロン、福祉施設、病院、講演会等)など色々な場所でどんどんハーモニカの音色を聴いてもらう。
- ②子供たちにもハーモニカを聞かせて興味をもってもらいたい、保育園、幼稚園、小学校、中学校など出入りしている人に機会を作ってもらえたら嬉しい。
- ③ハーモニカが健康に良いことを戦略的にアピールする。
- ④ハーモニカ好きで終わらず「音楽好き」になれば、もっと面白くなりコラボ出来る。
- ⑤ハーモニカが流れている映画、ドラマ、CM等の曲を練習してみる。
- ⑥グループの発表会に出来れば小学生・幼稚園児を組み入れたい。
- ⑦若い人向けの体験教室開催。会報で子ども体験教室を呼びかける。
- ⑧マスメディアにアピールする話題づくり。

### 設問番号10. ご希望やアイデアがあれば何なりとお聞かせ下さい。

- ①準会員の方を大事にすること。準会員(退会された方も含め)へ、事業部長から関西ハーモニカ祭りへの出演依頼をすることも考える。若い方を暖かく迎え入れる態勢を作る。
- ②関西圏で「プロだけのコンサート」をもっと開催して欲しい。
- ③理事の方々のご意見を聞く機会を設けたら新しい意見も聞けると考える。
- ④コンサートやコンテストでは古い曲や同じ曲に偏らないように出演者を選定する。
- ⑤近隣の教室やクラブ間の交流演奏会で親睦を図る。
- ⑥5~6人のアンサンブルを組むためにギターやピアノの伴奏者を募集する等を試みる。
- ⑦演奏会でマイク音量・カラオケ音量が大きすぎてハーモニカの音が消されそうで残念。

## 会員異動のお知らせ 2017年8月15日現在

組織部長 **梅田恒弘**

当連盟では名簿を公開していますが、本人の申し出があれば個人情報（住所・電話番号等）を非公開に出来ることが、2004.7.12の常任理事会で決議されました。また、2014.8.28常任理事会で、会員異動のお知らせの住所表示は市区名までにするとなりました。

会報212号（2017年07月号）でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。 （敬称略）

（個人会員入会）

会員番号	氏名	〒	住所	受付日
691	和田 敏子	614-8332	京都府八幡市橋本新石 10-2	2017.08.05

（会員氏名・名称・住所等変更、訂正）

変更	個 405	(新) 三木楽器アコースティックイン	542-0086	大阪市中央区	2017.07.01
訂正	個 397	小林三岐子	2017年7月発行「会員名簿」P.11 左下から9行目 「京都府三島郡」⇒(正)「大阪府三島郡」		
訂正	団 15	2017年7月発行「会員名簿」P.16 団体#15 生駒ハーモニカ“宇宙の会”団体会員： 播井 実 ⇒(正) 播井 実			
訂正	個 37	(住所のみ訂正) 岡村貞彦 2017年7月発行「会員名簿」P.17 (正) 尼崎市塚口町2丁目31番地 ジオ阪急塚口301号			
訂正	個 676	(電話番号訂正) 依藤 昌勝 2017年7月発行「会員名簿」P.8 (正) 090-7349-8527			

（2017年度：団体・団体代表者・団体会員登録）

団体番号	団体名	代表者	会員数	受付日
43	茨木ハーモニカファミリー	梅田細見	(1名追加) 11	2017.06.16
90	(新) るんるんポケット	鈴木末治	5	2017.06.20
16	山麓ハーモニカクラブ・生駒	今泉洋慈	(1名追加) 17	2017.06.22
70	グッドフェロウズハーモニカクラブ	森浦和子	(1名追加) 7	2017.06.26
91	(新) ハーモニカ・アンサンブル ゆう・もあ〜ず	阿部憲康	12	2017.07.03
64	高槻ハーモニカクラブ	小林 肇	(1名追加) 7	2017.07.27

（団体代表者 変更）

団体番号	団体名	代表者	受付日
22	池田アゼリアハーモニカクラブ	田口幸輝 ← 石本雅信	2017.06.17

2017.08.15現在の個人・準・賛助会員は248名、団体会員は697名(69団体)です。

お願い；個人会員の入会・退会、団体会員の入会、住所・住居表示・電話番号・市外局番等名簿記載事項の変更は必ず組織部へお知らせ下さい。



編集局

## 「ハーモニー」のバックナンバーをご希望の方に

編集室

発行済みの「ハーモニー」の在庫がありますのでご希望の方に差し上げます。下記ご記入の上、編集室へお申込み下されば郵送します。送料のみご負担ください。郵送する際にご負担額を明示しますので同額の切手を返送してください。

お申込先：郵送の場合 〒 530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F  
関西ハーモニカ連盟会報編集室  
FAX の場合 06-6353-1393  
E メール harmonica@cardandmedia.co.jp

記

### 個人会員の方

会員番号 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

ご住所 (〒 \_\_\_\_\_ )

お電話 \_\_\_\_\_

### 団体会員の方

団体番号 \_\_\_\_\_

団体名 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

ご住所 (〒 \_\_\_\_\_ )

お電話 \_\_\_\_\_

バック No	発行年月	ご希望に○	バック No.	発行年月	ご希望に○
196 号	2013 年 7 月		204 号	2015 年 7 月	
197 号	2013 年 10 月		205 号	2015 年 10 月	在庫なし
198 号	2014 年 1 月		206 号	2016 年 1 月	
199 号	2014 年 4 月		207 号	2016 年 4 月	
200 号記念号	2014 年 7 月		208 号	2016 年 7 月	
201 号	2014 年 10 月	在庫なし	209 号	2016 年 10 月	
202 号	2015 年 1 月		210 号	2017 年 1 月	
203 号	2015 年 4 月		211 号	2017 年 4 月	

それぞれ部数には限りがあり、ご要望に添えない場合もありますのでご了承ください。

■編集室では会報212号を発送後、休む間もなく国民文化祭を控えた事業部のお手伝いに追われました。言い訳になりますが、会報212号に添付した「アンケート」について「ご回答お願い」をもっと積極的に行うべきところ、十分にできませんでした。さらに私個人が、日本・インドネシア友好協会奈良の役員として「インドネシア伝統舞踊の会」開催の準備にも時間を取られました。この友好協会奈良は1988年の「ならシルクロード博覧会」を機に発足し、来年30周年を迎えます。他の友好協会に比べて大変長い活動の歴史があります。大きなイベントを実施していく場合には「何もかも大切な事として計画を立てるか?」がポイントであると再認識したことです。(岩本洋之)

■前号で会員の皆様にアンケートをお願いしたところ114名からご回答をいただきました、ご協力に感謝します。お寄せいただいたご意見、アイデアを精査、集計して次号1月号で最終ご報告をする予定です。これを機に、更に「ハーモニー」が連盟の幅広い発展に寄与できる方向を模索する編集室一同です。(竹内寿子)

■1年前から近所の民家型デイサービスに、月2回慰問演奏に行っています。入所者は10名。童謡・

唱歌・歌謡曲等を10数曲プリントして持参しますが、曲の追加・季節や行事ごとの入れ替えが意外と手間です。そこで1計を案じ、施設にあるテレビに歌詞を映すこととしました。ワードA4横サイズの歌詞集は、思い付いた時にランダムに入力し、その日の演奏予定曲に並べ替えます。季節ごと・行事ごと・カテゴリーごと自由に組み替え、目次検索で目的の曲に素早くジャンプできます。こうして出来た歌詞集は、私のタブレット(iPad)に入って訪問に同行してくれています。(HP担当渡辺晃志)

■編集局でアンケートをしようと思ったのはなぜか? 連盟の動きが行事中心に動くので、常任理事の方々は、その対応に追われてしまう、そしてそれぞれ自分の教室のこと、お仕事のことに時間を使っている、とすれば、連盟の今後、将来の連盟の形、ハーモニカの若手の育成など、考える余地がないと思ったからです。アンケートを実施して見えたことは、連盟のことに関心を持つ比較的若い?会員もいることがわかったり、連盟の行事のお手伝いをしたい方が居られたりすることが見えてきたことです。これらをまとめて近々、皆さんにお知らせしたいと思います。将来を考えていただくために。その折にはよろしくお願いします。(もり・けん)

(お詫び) 前会報212号9ページの下から2行目④アンサンブルの指導法(藤本一道)は(藤本和道)の誤りでした。お詫びして訂正します。(編集室)

次号  
締切日

次号 第214号 (2018年1月号) の  
原稿締切りは **11月15日(水)**、会報編集室必着でお願いいたします。  
同封物締切りは12月5日(火) 発行は12月中下旬予定。

## 関西ハーモニカ連盟 会報 第213号 (2017年10月号)

発行人 吹上 晴彦  
編集人 もり・けん  
発行所 関西ハーモニカ連盟会報編集室  
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-12 西栄ビル2F  
TEL 06-6354-0323 FAX 06-6353-1393  
e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp  
印刷・製本 株式会社カード & メディア







**募集中!!**

**ハーモニカ  
と  
ワンショット**

お子さん、お孫さん、ご家族の方々、親しい仲間、かわいいペット、大切にしているもの、風景など…ハーモニカと一緒に写っている写真を広く会報読者から募集しています。採用分は会報の表紙または裏表紙に掲載いたします。ふるってご応募ください。プリントまたは写真データを郵便またはメール添付便で下記までお送りください。

関西ハーモニカ連盟会報編集室「ハーモニカとワンショット」係

〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F 関西ハーモニカ連盟事務室内  
e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp